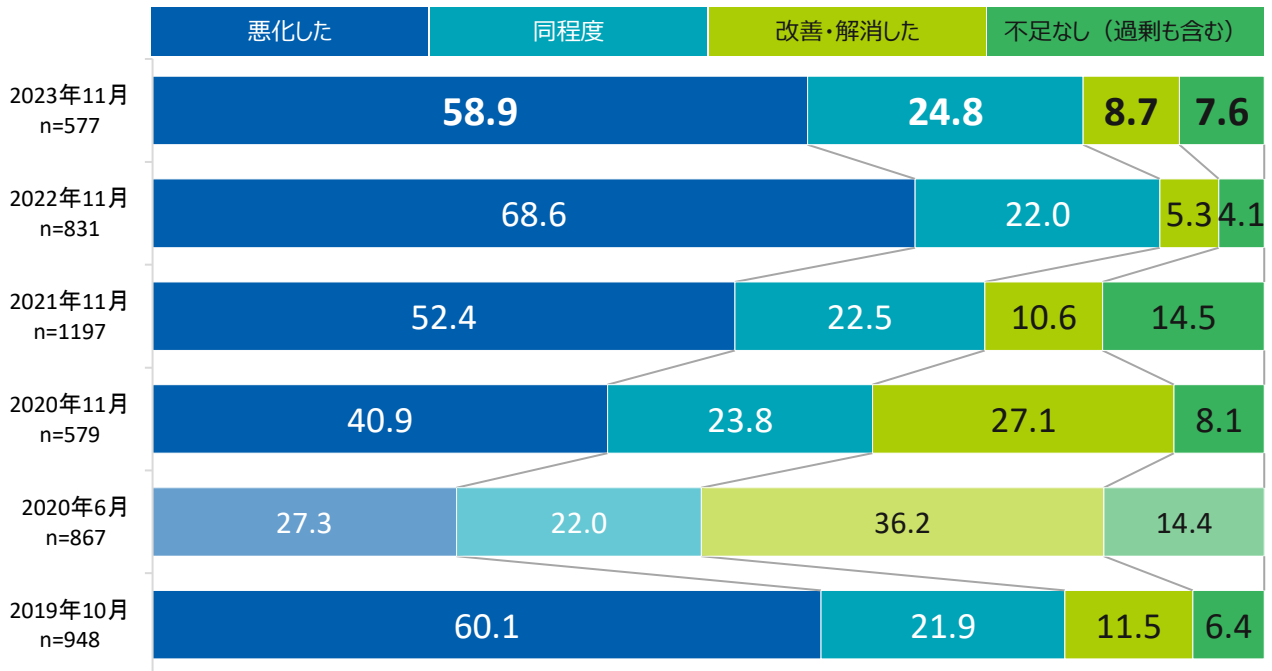


ジョブズコミュニティレポート 2023年12月号

## 経済活動活発化に伴い、人材不足感が高止まり —すべての業種で「1年前より悪化した」「1年前と同程度」が80%超え—

Q 1年前に比べて人材不足を感じますか？

(%)



\*コロナ禍初期との比較のため6月調査も参考として掲載

1年前と比べた人材不足感について、経営者や採用担当者に伺いました。大型イベントの開催やインバウンドの増加により経済活動が活発になっている今、各社の人材不足の状況はどうなっているのでしょうか。

全体では、「悪化した」が58.9%と前年より減少しましたが、コロナ前の2019年10月と比較すると同程度であり、経済活動が本格化し、人材不足感が高止まりしている状況といえそうです。なお、厚生労働省発表の2023年10月有効求人倍率は1.30倍（季節調整値）で、昨年同月から0.04pt減となりました。

業種別にみると、すべての業種で1年前と比べて「悪化した」「同程度」を合計した割合（以下、「不足計」）が80%を超えています。特に、「医療・福祉関連業」「人材サービス業」「飲食業」では3年連続で不足計が80%を超えており、慢性的な人材不足の状況がうかがえます。その他の業種でも、昨年以降、不足計が80%を超えている業種が多く、特に「製造業・建設業」「運送業」では、2年連続90%超えと、ここ数年で人材不足感が悪化しているようです。「運輸業」では、時間外労働の上限が制限されることによって発生する「2024年問題」がもう間もなく、という状況も影響していることが予想されます。

人材不足解消には、従来の人物タイプや募集内容などに固執しないこと、あわせて、業務効率化や既存従業員のスキルアップなど複数の方法で検討することが重要です。①フルタイム正社員の募集から短時間勤務の募集に変えたことで採用できた事例、②シニアへの固執したイメージを払拭し採用を増加させた事例、③作業の機械化によって業務効率化を進めた事例など、ぜひ参考にしてみてください。

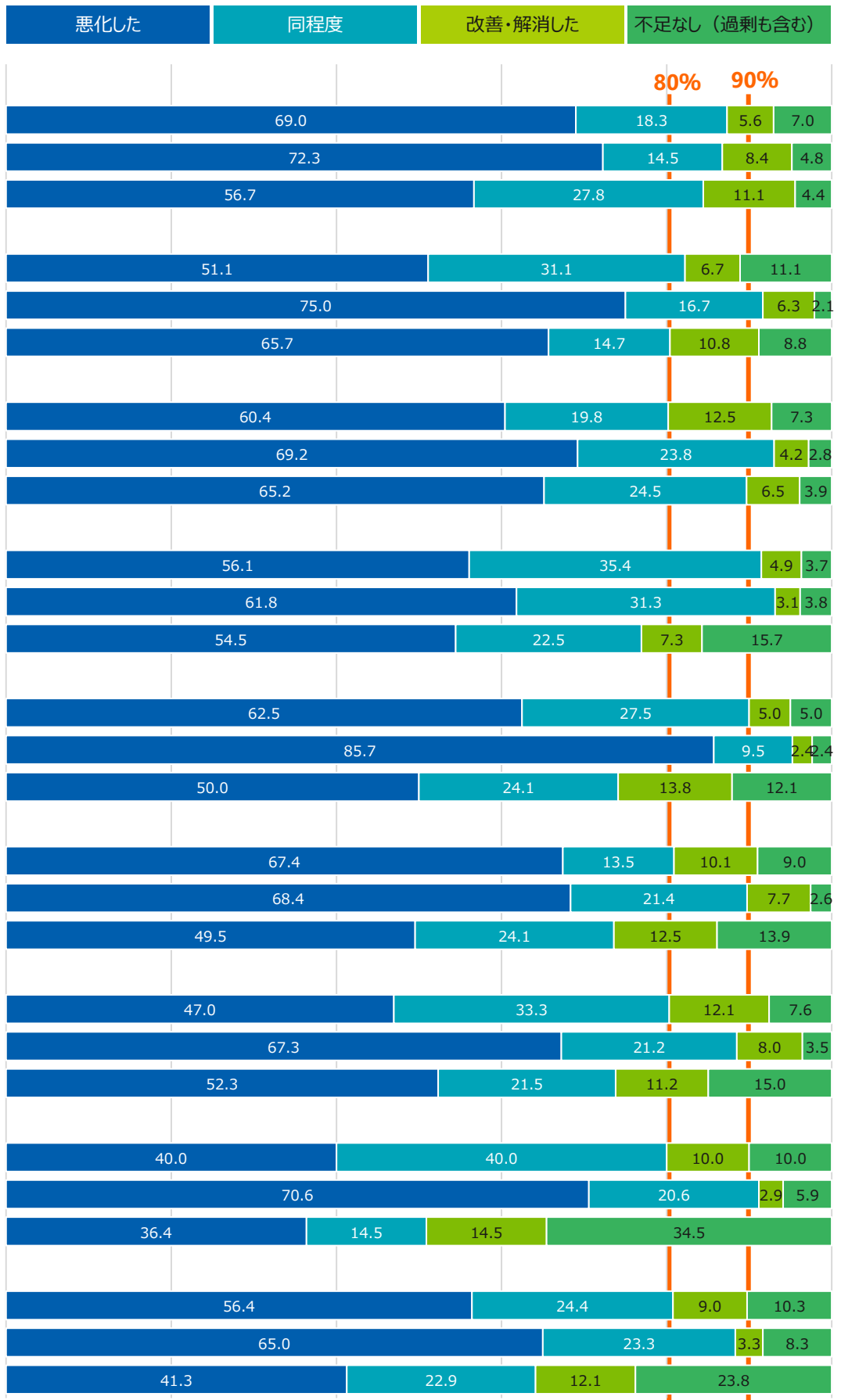
※レポート内の数値は、集計結果の小数点第2位を四捨五入しているため、構成比の合計が100にならない場合があります  
 ※前回までは「人手不足」、今回より「人材不足」と記載を変えて聴取しています

- アンケート実施期間：  
2023年11月17日～11月23日
- 有効回答数：577人
- 対象：人材インフォメールマガジン会員

- 本レポートに関するお問い合わせ先  
株式会社リクルート ジョブズリサーチセンター [jbrc@r.recruit.co.jp](mailto:jbrc@r.recruit.co.jp)
- その他のアンケート結果はこちらから  
[https://jbrc.recruit.co.jp/tag/tag\\_38.html](https://jbrc.recruit.co.jp/tag/tag_38.html)

(%)

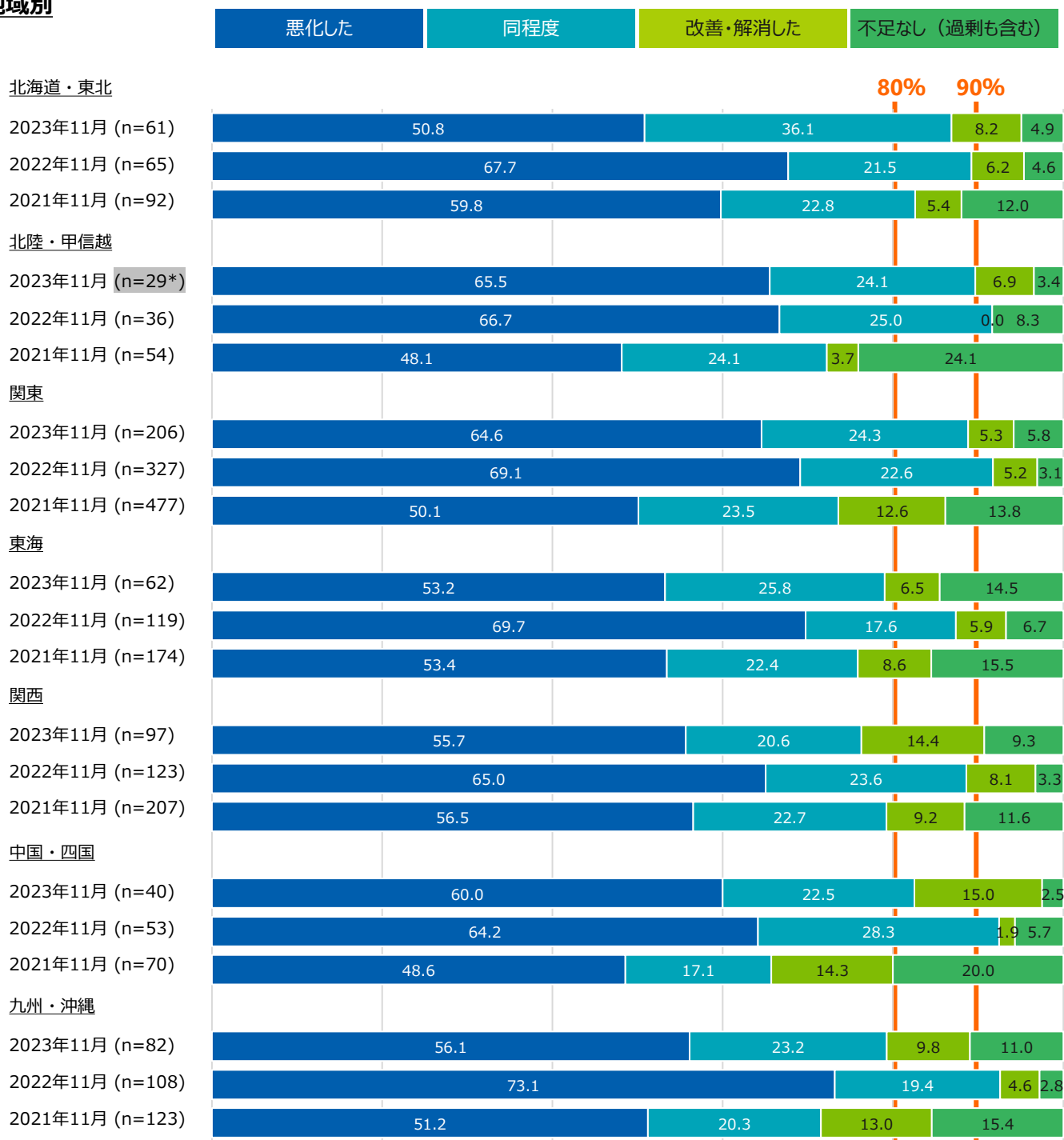
業種別



\*回答数nが30未満の場合は参考値として掲載

(%)

地域別



「北海道・東北」「北陸・甲信越」「関東」の不足計が約90%と高くなっているのは、回答企業の内訳が不足計の割合が高い業種に多かったことが影響しています。

\*回答数nが30未満の場合は参考値として掲載